

# SuBACo だより

2026  
3月号

まちなか交流施設  
すないる  
SuBACo

西1条北2丁目1-20  
0125-74-4885  
8時30分～17時  
休館日 土日祝

企画・編集  
砂川市役所  
地域おこし協力隊  
商工労働観光課  
中野有菜  
政策調整課企画調整係  
田村 翼

## 砂川オアシスパークのバトンをつなぐ

遊水地管理棟 平間館長10年間お疲れさまでした  
東館長これからよろしくお願いいたします！



平間さん 東さん

砂川のシンボルのひとつでもあり、市民の憩いの場でもある砂川オアシスパーク。  
オアシスパークの中にある遊水地管理棟を拠点に、全体の管理を担っている平間館長が4月いっぱい退任されることになりました。そして、5月からは新たに東さんが館長へ着任されます。私たち協力隊も日頃からとてもお世話になっている場所。これまでとこれからについて、おふたりにお話を伺ってきました。  
業務の引き継ぎ最中のお忙しい中、貴重な時間をありがとうございました！

●出身地やこれまでの仕事を教えてください。  
〔平間さん〕上砂川町です。高校3年生までいました。月形・夕張・歌志内・滝川・浦臼・妹背牛・赤平・そして砂川。管理棟の館長になって、ちょうど10年になります。  
〔東さん〕砂川の隣町、新十津川町です。現在は、滝川のこども科学館で指導員をしています。3月末で閉館が決まっているので、それまで勤務しています。

●趣味を教えてください！  
〔平間さん〕たくさんありますね。ひとつに絞れと言ったら、魚釣りです。船釣りをしています。父親が魚釣り好きな人だったので昔からしていました。釣ったあと食べるのも楽しみです。  
〔東さん〕家庭菜園と野球です。畑は、2アールくらい。トマトやナス、きゅうりや豆やかぼちゃなどを植えています。野球は、60〜80歳近くの人で還暦野球をしています。砂川の還暦野球チームとも対戦したりしています。  
●この10年で思い出に残っていることや楽しかったことを教えてください！  
〔平間さん〕大体ほとんどが楽しかったです。イベントをする方たちとお付き合いをするようになったり、人との関わりの関係がすごく広くなりました。  
●オアシスパークの印象を教えてください。  
〔東さん〕年間通してたくさんのお客さんが来るという話を聞いて、それが一番驚きました。ワカサギ釣りとか、観光の目玉のひとつなんですね。遊水地という認識はありませんでした。  
●オアシスパークのここが好き！  
〔平間館長〕5月の景色。山にはまだ雪が残っていて白くて、平地の部分は新緑の緑が見える。天気か良かったら空は真っ青で。空が青いと水面も青く見える。朝の方が空気が澄んでいるので綺麗です。  
●館長着任後の楽しみなことや意気込みをお願いします！  
〔東さん〕楽しみというより、正直不安もあるのですが。笑 イベントもいろいろ体験しながら、みなさんと交流していきたいです。平間館長がやってきたことを受け継いで、みなさんが楽しめるオアシスパークにしていきたいと思っています。  
●最後にひと言お願いします。  
〔平間さん〕本当にオアシスパークがたくさんの人に利用してもらえる、そういう場所であってほしいと思っています。

## 02

### 桜餅



いよだ

砂川市東1条南2丁目1-8

うれしい春の便り。今年もこの季節がやってきました。桜の葉の香りと上品な甘さの粒あんが絶品。うぐいすもちもぜひ。期間限定商品です。



うぐいすもち

〒073-0162 西2条北4丁目1の13  
0125-523258  
11時〜16時 火曜定休

## 幸来

昭和44年創業。メニュー表のない老舗ラーメン店。遠方からのお客様も多く、週末は行列ができています。砂川で長く愛されているお店です。中村製麺所の麺を使ったシンプルなラーメンは塩・醤油・味噌の3種。(ミックスがあるとかないとか。?) カウンターに座ると手際よくラーメンがつくられていく様子が伺えます。  
金・土・日曜のみ食べられる限定のカレーライスもぜひ一度お試しあれ。



塩らーめん

850円



醤油らーめん

850円

## 今月のひと皿

幸来の  
塩らーめん



砂川の商店街をご紹介

# すながわのおみせ

雑貨屋 Hammy's

vol.17

想いを、かたちに。  
暮らしを、やさしく



浜野 優実さん

取材の際は、ご夫婦で楽しいお話をたくさんしてくれました。

浜野優実さんがアクセサリー作家として「Hammy's」の屋号を掲げたのは平成25年、東京でのこと。

その後、体調を崩したことをきっかけに、父の縁があった北海道へ平成27年に移住しました。「最初は本当にリハビリだったんです」と語る通り、令和元年にわずかなスペースから週2回の営業でスタート。そこから一歩ずつ歩みを進め、令和4年には夫と共に株式会社を設立。

現在は、雑貨販売・IT事業・ジャム製造の3本柱を軸に、地域に根差した活動を続けています。

コンセプトは「心とからだに優しい」

アレルギーを持つ浜野さん自らが全国から取り寄せた商品は、オーガニック、グルテンフリー、カフェインレスなど、体に優しいものばかり。「お客様に飽きがこないように」と毎日少しずつ変えられるディスプレイや、店主が「もう一人の店員」と呼ぶ丁寧な手書きポップには、訪れる人への深い愛情が込められています。

また、夫の城治さんが担当するIT事業では「顔の見えるIT屋さん」として、気軽にホームページ制作などの相談ができる敷居の低さが魅力。

Hammy'sは常連客も多く、前店舗が病院の近くにあったため、退院後の目標として来店を心待ちにするファンもいたほど、砂川の人々の心に寄り添う存在となっています。

## 【注目イベント】 20日より開催！「いぬとねこ」ポップアップ

Hammy'sでは、3月20日（金）より特別な企画展を開催します。今回のテーマは「いぬとねこ」。大切なペットの毛を樹脂に封入して保存できる「けだま工房」の作品や、愛らしい刺繍が施された「ルパルク」の布小物など、ペットとの絆を感じられるアイテムが並びます。

さらに、犬猫用のおやつに加え、人気店「neerun」の焼き菓子も販売予定。動物を愛する方はもちろん、美味しいお菓子を求める方も楽しめるイベントです。ぜひ、自分だけの「優しい宝物」を探しに足を運んでみてはいかがでしょうか。



優しい雰囲気と優しい店内。  
手書きのポップに惹きつけられます。

〒073-0131  
北海道砂川市東1条南1丁目1の23  
(旧砂川観光協会)  
0125-74-8269  
10時～18時00分（日・月曜日は除く）  
駐車場あり

## 再発見

「学校でも家でもないもう1つの場所」  
子供から大人まで一体となって作る劇団



砂川の文化を語る上で欠かせない存在、それが市民劇団「心呂座（こころざ）」です。年齢も職業もバラバラなメンバーが、ひとつの物語を作り上げるために集まるこの場所。今回は、地域に根ざした彼らについてご紹介します。



まず、印象的なその「名前」の由来をご存知でしょうか？「砂川の砂：砂利がころころ、ころころ丸く。ころころ楽しく。」という茶目つ気たつぷりの連想に、「心優しく。心のふれあいを大切に。詞（ことば）、歌、思いが繋がってひとつになる。」という願いを込めて、『心呂座』と名付けられました。

拠点となるのは、砂川市地域交流センター「ゆう」。毎週木曜日の夜、小学生からベテランまで、世代を超えたメンバーが集まり、真剣かつ笑いの絶えない稽古に汗を流しています。

心呂座の舞台が特別なのは、それが「砂川を愛する人による、砂川のための物語」だからです。脚本から演出、衣装や大道具の製作に至るまで、そのすべてが団員たちの手作り。

令和8年1月25日には、団員自らが創作・演出を手がけた最新作『やくそくのほしぞら』を上演。子どもたちの生き生きとした演技と、大人たちの深みのある表現が重なり合い、満員の会場を大きな感動で包み込みました。

## 編集後記

そろそろ冬が過ぎ、出会いと別れの季節ですね。本格的な春が待ち遠しいこの頃です。（中野）雪もすっかり溶けてきて、春が近づいているのを感じます。砂川の四季も楽しみたいですね。（田村）

SUBACOだよりのバックナンバーは

市役所・商工労働観光課・すないるにて配布中！